【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第４区分
【発行日】平成26年9月11日(2014.9.11)

【公表番号】特表2014-515590(P2014-515590A)
【公表日】平成26年6月30日(2014.6.30)
【年通号数】公開・登録公報2014-034
【出願番号】特願2014-510638(P2014-510638)
【国際特許分類】
Ｈ０２Ｇ　1/14　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０２Ｇ　1/14　Ｇ

【手続補正書】
【提出日】平成26年7月24日(2014.7.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
領域拡張装置によって中に支持コアが挿入されるデバイスであって、前記領域拡張装置は、半径方向に拡張可能な内表面と、該半径方向に拡張可能な内表面から半径方向に外方に延在する平面とを画定する加圧手段を有し、前記デバイスが、
後端と反対側の前端と、軸方向穴とを有するエラストマー管であって、当該軸方向穴は前記エラストマー管内を延在して前記支持コアを受容するように構成されている、エラストマー管と、
半径方向外表面及び該半径方向外表面から半径方向に外方に延在する平面によって画定される段部と、軸方向穴とを有するアダプタであって、当該軸方向穴が、当該アダプタ内を延在すると共に前記エラストマー管の前記軸方向穴の直径と実質的に同一の直径を有する、アダプタと、を備え、
前記支持コアを前記後端から前記エラストマー管の中に挿入することに応じて、前記アダプタの前記平面が前記エラストマー管によって前記加圧手段の前記平面に対して押し付けられ、前記アダプタの後端と前記エラストマー管の前記前端との間の界面が高摩擦であり、そのため前記アダプタ及び前記エラストマー管が一緒に半径方向に拡張し、前記アダプタの前記半径方向外表面が前記加圧手段の半径方向に拡張可能な内表面に対して半径方向に外方の圧力をかけるように、前記アダプタが、前記加圧手段と前記エラストマー管との間で前記エラストマー管と実質的に同軸状に位置決めされる、デバイス。
【請求項２】
前記エラストマー管と前記アダプタとの間の軸整合を達成するように構成されるコネクタを更に備え、
前記コネクタが、前記軸方向穴の直径と実質的に同一の直径を有する円筒状の外表面を備え、前記軸方向穴のそれぞれの少なくとも一部分内に位置決めされる、請求項１に記載のデバイス。
【請求項３】
前記アダプタが、前記平面から後方に延在し、かつ前記アダプタの後端で終端する第２の半径方向外表面を更に備え、前記第２の半径方向外表面の直径が、前記エラストマー管の外径を超え、
前記エラストマー管が、前記前端でテーパ形状であり、前記第２の半径方向外表面の前

記直径が、前記エラストマー管の最前方位置で前記外径を超える、請求項１に記載のデバイス。
【請求項４】
前記エラストマー管の前記軸方向穴の表面及び前記支持コアの外表面に適用される、３×１０^{5}ｍＰａ・ｓより高い粘度の潤滑剤層を更に備える、請求項１に記載のデバイス。
【請求項５】
前記支持コアを前記エラストマー管の中に挿入する間、前記エラストマー管の前記軸方向穴と前記支持コアとの間で前記エラストマー管の前記後端に位置決めされるように構成されるスペーサを更に備え、
前記スペーサが、基部と、該基部から延在する複数のフィンガとを有するパッドを備え、前記パッドが、前記エラストマー管の硬度を超え、かつ前記支持コアの硬度未満である硬度を有するエラストマーを含む、請求項１に記載のデバイス。
【請求項６】
エラストマー管と実質的に同軸状にアダプタを位置決めする工程であって、前記エラストマー管が、後端と反対側の前端と、軸方向穴とを有し、当該軸方向穴は前記エラストマー管内を延在して支持コアを受容するように構成されており、前記アダプタが、半径方向外表面及び該半径方向外表面から半径方向に外方に延在する平面によって画定される段部と、軸方向穴とを有し、当該軸方向穴が、当該アダプタ内を延在すると共に前記エラストマー管の前記軸方向穴の直径と実質的に同一の直径を有する、工程と、
前記アダプタの前記半径方向外表面を領域拡張装置の加圧手段によって画定される半径方向に拡張可能な内表面と係合する工程と、
前記軸方向穴の前記直径を超える外径を有する前記支持コアを前記後端から前記エラストマー管の中に挿入する工程と、
を含む、方法。
【請求項７】
挿入する前記工程の前に、３×１０^{5}ｍＰａ・ｓより高い粘度の潤滑剤層を前記エラストマー管の前記軸方向穴の表面及び前記支持コアの外表面に適用する工程を更に含む、請求項６に記載の方法。
【請求項８】
挿入する前記工程の前に、前記支持コアの前端の周囲にスペーサを位置決めする工程を更に含み、
前記スペーサが、基部と、該基部から延在する複数のフィンガとを有するパッドを備え、前記パッドが、前記エラストマー管の硬度を超え、かつ前記支持コアの硬度未満である硬度を有するエラストマーを含む、請求項６に記載の方法。